学校法人専修大学

平成29年度事業計画・予算

平成29年度学校法人専修大学の事業計画・予算は平成29年3月27日に開催された理事会・評議員会で承認された。

平成29年度事業計画

学校法人専修大学は、21世紀ビジョン「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」のもと、教育・研究活動に取り組むとともに、「学生を基本に据えた大学づくり」を念頭に大学運営を行っています。専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年を迎える平成32年度までの向こう5年間は、「確たる大学基盤の整備」を事業推進の指針に据え、7つの事業領域（「教育」「研究」「学生支援」「グローバル」「入試」「社会連携」「経営・財務」）を中心に強化を進め、学校法人専修大学創立150年に向けて、大学基盤の整備を推進します。

この指針の下、平成29年度に取り組む事業計画は次のとおりです。

専修大学は、平成32年度以降の学部・学科構想の具現化に向けて、神田キャンパス靖国通り新校地への校舎建設に着工します。平成31年度内の竣工を目指す新校舎は、地上15階建て高さ約80mの高層校舎を計画していることから、九段下・神保町エリアの新たなランドマークとなり、神田における新たな知の発信拠点となることを期待しております。

教育領域においては、教育の質的転換に向けた取組みの一環として、新たに「アクティブ・ラーニング」「『学生による授業評価』の全学的実施」について検討します。平成28年度に検討を行った「カリキュラム・マップ」「コース・ナンバリング」については、次期カリキュラムに導入するための準備を進めます。さらに、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた授業を全学的に展開するため、学生のスマートフォン等を使用するシステム（respon）を導入いたします。平成29年度より使用が開始される生田2号館は、音響・映像設備が充実したラーニングスタジオ（160人程度収容）、ラーニングシアター（200人程度収容）を中心に、アクティブ・ラーニングを促進するための学習支援機能を有しており、導入するシステムとの相乗効果を期待しております。

研究領域においては、平成28年度では科研費新規採択率が研究機関中第11位（私大第3位）となりました。近年、科研費への応募が急増し競争が激化しておりますが、平成29年度も新規応募件数を増加させると共に、採択率の向上を図ります。

入試領域においては、入学志願者40000人以上を継続的に確保すべく、入試広報活動の強化に加え、スカラシップ入学試験の募集人員の拡大、一般前期入学試験地方会場の試験日追加、一般後期入学試験の試験会場の新設などの施策を展開してまいります。

石巻専修大学は、平成28年度に採択された私立大学研究ブランディング事業「震災復興から地域資源の新結合により産業創出へ―草葉起源による内水面養殖業の創出―」の事業を着実に推進してまいります。また、平成29年度よりスタートする新カリキュラムの運用を円滑に推進するとともに、平成28年度に改正した三つのポリシーの一体的な運用・検証を図るため、「学修成果の可視化」を可能とするモデルの構築を検討し、教育の質的転換の推進を図ります。

さらに、2018年問題を見据えた新たな学生募集戦略として、直接広報の機会拡大、テレビCMの製作、広報エリアの拡大などの諸施策を展開し、石巻圏域受験生の獲得についても強化してまいります。

学校法人専修大学は、キャンパスの整備拡充が大きな課題です。一方、財政の健全化も図らなければなりません。そのため、経常的経費の適正化を厳格に進めます。さらに「専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年記念事業募金」の募金活動をはじめ、多くの方々にご支援とご協力をお願い致します。

1 教育領域

（1）学士課程における体系的な教育課程編成

【専修大学】

①教育の質的転換に向けた取組み

②次期カリキュラム改正に向けた取組み

③教育成果の測定・検証

【石巻専修大学】

①教育の質的転換の推進

②全学的なカリキュラム改正の運用

③学科間ジョイント・プログラムの導入

（2）学士課程における能動的学修への転換

【専修大学】

①アクティブ・ラーニングの支援体制強化

②「respon」システムの導入及び利用の促進

【石巻専修大学】

①アクティブ・ラーニング等の手法を取り入れたセミナーの開催

②「教える場」から「学びの場」へと教員の意識転換を促す活動の推進

③授業改善に資する授業研究会の実施

（3）学士課程におけるキャリア教育の推進

【専修大学】

①キャリア教育の体系化

②インターンシップの拡充

【石巻専修大学】

全学共通科目として「キャリア教育科目」を設置する。また、地域課題を理解した人材の育成を目指す「いしのまき学」も全学共通科目に導入する。

（4）学士課程における教育組織の改革

【専修大学】

平成31年度には、経営学部の改組（2学科制）及び文学部人文・ジャーナリズム学科を文学部ジャーナリズム学科に改組する。平成32年度には、国際系新学部を神田キャンパスに創設及び商学部を神田キャンパスに移設。また、経済学部においても平成32年の学科再編に向けた検討を進める。

（5）大学院における教育改革の推進

【専修大学】

各研究科において新コース、新カリキュラムの設置及び新たな入学試験制度の検討を推進する。さらに、外国人留学生のためのチューター制度の導入や三つのポリシーを具体的かつ一貫性・整合性のあるものに改正する。

（6）法科大学院における教育の質向上

【専修大学】

①司法試験の合格率向上及び法学未修者の基礎力養成

②入学定員の充足率向上と本学法科大学院への志願者数増加

（7）ICT教育の推進（学部・大学院共通）

【専修大学】

平成30年4月の次期教育・研究用コンピューターシステムの本稼動向けて、システム構築作業及び稼動準備を進める。

（8）内部質保証機能の強化

【専修大学】

①自己点検・評価の改善

②法科大学院認証評価の受審

（9）教育・研究環境の整備

【専修大学】

①神田新校舎の建設

②神田新校舎建設計画に伴う神田既存校舎改修

③教育の情報化推進への取組み

（10）大学間等との連携

【専修大学・石巻専修大学】

専修大学経営学部と石巻専修大学経営学部が締結した協定及び覚書に基づき、学生交流事業を開始する。

2 研究領域

（1）競争的研究資金の獲得促進

【専修大学】

①科学研究費獲得の強化

②研究プロジェクト等の推進

次の研究プロジェクトを推進するとともに、文部科学省等が募集する研究プロジェクトに採択されるよう支援に努める。また、「私立大学研究ブランディング事業」の平成29年度の申請に向けて、学長のリーダーシップの下、全学的な独自色のある新たな研究拠点の創出を推進する。

◆古代東ユーラシア研究センター

「古代東ユーラシア世界の人流と倭国・日本」

（私立大学戦略的研究基盤形成支援事業）

◆ソーシャル・ウェルビーイング研究センター

「アジアにおけるソーシャル・ウェルビーイング研究コンソーシアムの構築」

（私立大学戦略的研究基盤形成支援事業）

◆アジア産業研究センター

「メコン諸国における経済統合の中小企業への影響についての研究―「ASEANサプライチェーン」の観点から―」

（私立大学戦略的研究基盤形成支援事業）

◆四川・ローカルリスクコミュニケーション研究センター

「四川省における基層組織の「危機」対応の形成過程とその変容・日本におけるCrisis management, Risk communication, resilienceの視点から」

（中国・四川師範大学「日本研究専門プログラム」）

◆心理科学研究センター

「ベイジアン・アプローチによる心と消費社会のデータサイエンス」

（学内研究プロジェクト）

【石巻専修大学】

①私立大学研究ブランディング事業の推進

②共創研究センタープロジェクトの推進

（2）研究活動の推進及び基盤の整備・充実

【専修大学】

新任教員からは、eラーニング教材を用いたオンラインでの倫理教育を実施する。

【石巻専修大学】

「石巻専修大学研究推進委員会」により、研究助成制度等を含めた研究環境全般を見直し、研究環境の整備・充実を図るとともに、研究業績者の選定・顕彰を行う。

（3）産学官連携による研究促進

【専修大学】

①産学官連携の強化

②教員の研究についての情報発信力強化

【石巻専修大学】

①産学金連携「三陸産業再生ネットワーク」の取組み

②産学官連携の推進

3 学生支援領域

（1）就職支援の強化

【専修大学・石巻専修大学】

「就職の専修」として、これまで以上に就職支援を強化する。専修大学では、地方自治体と締結している就職支援協定（15県1市）により、地方へのUターンや出身地以外の地方に就職するI・Jターンを促進し、地方創生に寄与する。また、学生一人ひとりの目標実現のため、（ア）就職課員の相談スキル向上とキャリアカウンセラーの配置を含めた個別相談体制の充実、（イ）3年次生を対象に、多彩な就職支援プログラムを展開、（ウ）企業人事部との積極的な情報交換を通じて提携関係の強化と多様な手段による求人情報の収集、（エ）出会いの場となる企業説明会・業界研究会・講演会を多数展開、（オ）地方自治体と連携し、地方企業就職希望者への支援を積極的に推進の組みを中心に推進し、就職支援の強化を図る。石巻専修大学では、「就職率100％」を目指し、（ア）1～3年次生ガイダンス出席率60％以上、（イ）インターンシップの参加者100名以上、（ウ）就職状況調査回答率100％の3点を達成目標に掲げ、「進路ガイダンスの質の向上」「個別相談体制の強化」「教職員の連携強化」の三つの強化策を図る。

（2）資格試験等指導講座の充実

【専修大学・石巻専修大学】

「資格の専修」として、質の高い講座や多彩なプログラムを展開し、支援体制の充実を図る。専修大学では、難関試験の上位合格者の増加を目指す。そのため、各講座に実力講師を配置し、支援体制の強化を推進する。

石巻専修大学では、公務員試験対策講座、各種検定試験対策プログラム等を展開する。

（3）退学者の抑制

【専修大学・石巻専修大学】

全学的に退学者の抑制に努める。専修大学では、成績不良者の修学意欲の喚起を図るために、クラス担任やゼミナール担当教員による個別面談・指導を実施する。また、学生相談室では、学生相談員（教員）による学習支援や保健室と共同で「心身の健康に関する講座」を開催するなど、サービスを強化する。

石巻専修大学では、改善傾向にある退学率をさらに低減させるため、現在推進している学生サポートはもとより、休学・退学者等の状況把握や分析を踏まえた施策の検討を推進する。

（4）カレッジスポーツの振興

【専修大学・石巻専修大学】

「スポーツの専修」として、カレッジスポーツの強化を推進する。専修大学では、個々の競技力向上や意識改革に資する企画を実施する。石巻専修大学では、強化指定サークルを中心に施設面等の整備を含め、各部の強化を図る。

（5）学生生活及び健康サポートの強化

【専修大学・石巻専修大学】

障がいのある学生への安全安心な学修環境提供のため、全学的に必要なサポート体制等について検討し、支援策の具現化を推進する。

【専修大学】

食育の推進を通じて学生の健康状態の改善や学習などに対する意欲の向上を図るため、100円朝食を継続して実施する。

4 グローバル領域

（1）学生の英語力向上

【専修大学】

「English Camp」と「異文化間コミュニケーショントレーニング」の時間数を増加させ、英語運用能力及びコミュニケーション能力を集中的に鍛える。

（2）留学者（派遣）数の増加

【専修大学】

カルガリー大学（カナダ）との学生間の相互交流を促進すべく、派遣については長期交換留学プログラム及び中期留学プログラム（前期）を推進する。

【石巻専修大学】

温州大学（中国）との短期研修及び長期交換留学プログラムを通じた学生の相互交流を推進する。また、ランドルフ・メーコン大学（米国）との大学間協定の締結に向けた協議を進める。

（3）東南アジア圏の交流強化

【専修大学】

「専修大学東南アジア特別聴講生受入れ支援制度」による留学生の受入れや国民経済大学（ベトナム）に対する受入れプログラム等を促進する。

5 入試領域

（1）志願者数向上への取組み

【専修大学】

①志願者40000人の継続的な確保に向けた取組み

②一般入試における入試制度改革

【石巻専修大学】

新たな学生募集戦略として、直接広報の機会拡大、テレビCMの製作、広報エリアの拡大、継続的な接触者フォロー、高等学校との関係強化といった諸施策を展開する。

（2）高大接続改革への対応準備

【専修大学】

アドミッション・ポリシーの内容を具現化する入学者選抜方法について検討を進める。

【石巻専修大学】

「大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告通知」や、各学科が検証を進めている「アドミッション・ポリシーと現行入学試験制度との相関結果」を踏まえた入学試験選抜方法の見直しを推進する。

（3）石巻圏域受験生の獲得強化

6 社会連携領域

（1）協定自治体等との連携強化

【専修大学】

①協定自治体との連携事業の推進

②高大連携の推進

③教育交流協定校との連携強化

④スポーツを通じた児童・生徒の育成支援

【石巻専修大学】

①教育力向上への貢献

②市民との交流、地域理解と貢献

③高大産連携プロジェクトの推進

（2）公開講座等の充実

【専修大学】

①企画展の開催

②公開講座・シンポジウムなどの充実

【石巻専修大学】

①大学開放講座などの充実

②図書館企画展の開催

（3）地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC＋）の推進【石巻専修大学】

（4）広報活動等の強化

【学校法人専修大学】

公式ウェブサイトのリニューアルを行い、7月までの公開を目指す。

7 経営・財務領域

（1）経常支出の抑制

【学校法人専修大学】

専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年を迎える向こう5年間において、事業活動収支差額比率＋5％以上の安定的な確保を目指す。

（2）外部資金確保の推進

【学校法人専修大学】

①補助金確保に向けた取組み

②寄付金の募集

（3）事業の継続的発展に向けた取組み

【学校法人専修大学】

①学内防災体制の整備

②職員の能力開発の促進

（4）中期計画策定の検討

【学校法人専修大学】

創立150年に向けての中期計画策定の検討を進める。

（5）ICTの効率的な活用

【専修大学】

現行のWeb履修登録システムのハードウェアを中心に更新する。あわせて、Web履修登録に関わる機能をスマートフォン対応にすることにより、さらに本学学生の利便性を向上させる。

8 その他

（1）専修大学北海道短期大学に係る対応

【学校法人専修大学】

専修大学北海道短期大学について、文部科学省への廃止認可申請等、廃止の諸手続きを進める。

なお、事業計画の詳細については、http://www.senshu-u.ac.jp/univguide/info_edu_ress/proj_index.htmlを参照してください。